

## 2022年度第1回「英検」より 成績表示を一部改定のお知らせ

### —新たに「技能別 CEFR」を併記します—

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区横寺町 55、以下、「英検協会」）は、2022年度第1回 実用英語技能検定より、「英検」（従来型の英検を示す）・「英検 S-CBT」・「英検 S-Interview」の各成績表示に、新たに「技能別 CEFR」を併記することをお知らせいたします。

#### 【技能別 CEFR の併記で得られる効果】

実用英語技能検定の各試験の結果は、従来の「合格/不合格」の判定に加え、全級共通の一貫したスコア尺度である「英検 CSE スコア」※1、および、国際標準規格である「CEFR レベル」※2 で示されています。

1 級～3 級で示される CEFR レベルにつきましては、これまで「4 技能総合 CEFR」を算出しておりましたが、このたび、Reading, Listening, Writing, Speaking の「技能別 CEFR」を新たに加えることとなりました。

これにより、受験者の総合的な英語力に加えて、「読む」・「聞く」・「書く」・「話す」の技能別の英語力についても国際標準規格に照らしてレベルを把握できるようになり、入試等での英語力証明の他、英語学習者の生涯に渡る到達目標や、教育現場でのより適切な学習指導にご活用いただけます。

#### ＜成績表示の例＞（2 級の合格証明書の表示例）

※1	英検 CSE スコア	総合スコア 2100	Reading 525	Listening 525	Writing 525	Speaking 525
※2	CEFR レベル	4 技能総合 CEFR B1	Reading B1	Listening B1	Writing B1	Speaking B1

2022 年度より、新たに「技能別 CEFR」を併記

#### 英検 CSE スコア（※1）

- ユニバーサルなスコア尺度 CSE（Common Scale for English）を英検の各級で表記したもので、受験者の英語力を客観的に評価します。
- どの級でも共通のスコア表示のため、過去のスコアと比較することで英語の伸長度を技能別に把握することができます。

#### CEFR レベル（※2）

- CEFR とは、Common European Framework of Reference for Languages の略。外国語の熟達度をレベル別に示す国際標準規格であり、欧米で幅広く導入され、A1 レベル（初級学習者）から C2（熟達した学習者）までの 6 つのレベルが設定されています。
- 英検では、2022 年度より「4 技能総合 CEFR」に加えて、**技能別英検 CSE スコアに基づいて、新たに「技能別の CEFR レベル」を併記します。**
- なお、4 級・5 級につきましては CEFR 算出範囲外であるため、CEFR レベルが表示されません。

英検 CSE スコア、CEFR レベルについての詳細は、英検ウェブサイト( <https://www.eiken.or.jp/cse/> ) をご覧ください。  
2022 年度からの「技能別 CEFR」に関するご案内につきましては、2022 年 3 月上旬にウェブサイトを更新予定です。

## <技能別 CEFR が併記される試験サービス>

- ・ 英検（従来型） ・ 英検 S-CBT<sup>※1</sup>
- ・ 英検 S-Interview ・ 英検 IBA<sup>※2</sup>

## <技能別 CEFR が併記される成績書類<sup>※3</sup>>

- ・ 個人成績表（一次試験・二次試験）
- ・ 合格証書、合格証明書（和文・英文）<sup>※4</sup>
- ・ 英検 CSE スコア証明書
- ・ 英検ウェブサイトでの合否結果・成績表の閲覧<sup>※5</sup>



- ※1: 2022 年度第 1 回検定の初回合否公開日と同日時に合否公開となる 3 月 28,30,31 日実施分の成績表も先行して新レイアウトでお届けします。
- ※2: 英検 IBA については、2022 年 4 月中旬以降から成績表に併記予定となります。
- ※3: 成績表示のレイアウトは、成績書類ごとに若干異なります。詳細は、2022 年 3 月上旬に英検ウェブサイトにてご案内予定です。
- ※4: 2022 年度第 1 回検定以降、合格証書・合格証明書への「証書番号」の記載は廃止させていただきます。
- ※5: 過去分の証明書につきましては、2022 年度第 1 回検定の合否公開時以降に申請されたものから「技能別 CEFR」が併記されます。

## 【受験級ごとの「CEFR レベル」と「英検 CSE スコア」の対応】

受験級によって CEFR レベルを算出するための英検 CSE スコアの範囲（CEFR 算出範囲）を定めています。

- 範囲内の場合は、そのスコアに応じた CEFR レベルが表示されます。
- この範囲を上回った場合は、その級で算出できる CEFR レベルの上限が表示されます。
- この範囲を下回った場合は、CEFR レベルが表示されません。

CEFR レベル	CEFR レベルを算出できる英検級					英検 CSE スコア				4 技能総合スコア
						技能別スコア				
	3 級	準2級	2 級	準1級	1 級	Reading	Listening	Writing	Speaking	
C1					○	670 ~	651 ~	666 ~	613 ~	2600 ~
B2					○	595 ~	600 ~	586 ~	519 ~	2300 <sup>※1</sup> ~
B1			○	○		515 ~	496 ~	472 ~	467 ~	1950 <sup>※2</sup> ~
A2		○	○			436 ~	445 ~	415 ~	404 ~	1700 <sup>※3</sup> ~
A1	○	○				380 ~	342 ~	316 ~	362 ~	1400 ~

なお、4 級・5 級につきましては CEFR 算出範囲外であるため、CEFR レベルが表示されません。

- ※1: 1 級を受験された場合、4 技能総合スコアが、準 1 級の合格基準スコアである 2304 未満だと 4 技能総合 CEFR が表示されません。
- ※2: 準 1 級を受験された場合、4 技能総合スコアが、2 級の合格基準スコアである 1980 未満だと 4 技能総合 CEFR が表示されません。
- ※3: 2 級を受験された場合、4 技能総合スコアが、準 2 級の合格基準スコアである 1728 未満だと 4 技能総合 CEFR が表示されません。

上述のとおり、2022 年度からの「技能別 CEFR」に関する詳細は、[英検ウェブサイト](#)にて本年 3 月上旬に更新予定です。

以上、英検協会としましては、より充実した受験結果をご提供させていただくことで、皆様の日頃の学習やご指導にお役立ていただくことを願っております。